

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No. 16

BOOK は図書館のワクワクを皆さんにお伝えするメディアです。皆さんが図書館に感じるワクワクも教えて下さい。知らない人に教えてあげましょう。

2014年10月20日発行 / 隔月刊
発行 & 編集 = 山形村図書館

図書館は 趣味部屋？

製本あり、木工あり、手芸あり。
あなたのご趣味のお手伝い。

プロ直伝の技で、布張り高級？ な一冊ができました。

9月6日(土)にふるさと大ホールに集った14名。シンエーセイホンの鈴木さんの指導で、布張りの本の製本体験をしました。大小二つの

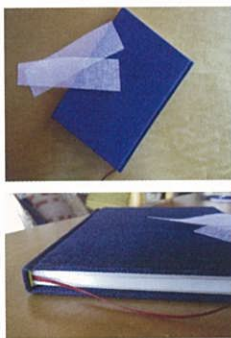
サイズから好みの方を選び、用意された表紙用の布に、厚紙の表紙や中身になる冊子を組み込んで仕上げていきます。今回は、まっさらな紙の本が出来上がりました。



鈴木さんのやり方を真剣に見つめる参加者。さーやってみよう!

「エンディングノートにするわ。」「自分の俳句を集めた句集にしたいな。」「私は絵を描こうかな。」
「私も絵の好きな娘にプレゼントしよう。」などなど、使道に話が弾みます。
「今まで製本はしてきただけ、表紙のつけ方をすっかり学べてよかった。」ワー何よりです。

「今度は本の中身を用意してくるから、それに合わせた表紙付けを教えてほしいな。」夢は広がります。
図書館は、人と本、人と人の出会いをお手伝いします。これを機会に新しい講座が利用者さんのあいだから生まれるといいな。



布張り角背の立派な本が出来た!。背の補強のため寒冷紗を貼ってあります。花切れ、葉も付けました。

心に残る詩

須永恵次 選 図書館を愛する会

震えるほどに共感出来る詩、あなたの背中をそっと後押ししてくれる詩との出会いは、きっとあなたを幸せにしてくれる。そんな詩を求めて……。

今回は二十四歳で夭逝した、詩人で建築家であった、立原道造です。立原と交流のあった室生犀星は「我が愛する詩人の伝記」の中で、「建築家と色鉛筆」ということが、立原には、相応しい象徴語であった」と書いています。

序の歌 立原 道造

しづかな歌よ ゆるやかに
おまへは どこから 来て
どこへ 私を過ぎて
消えて 行く??

夕映が一日を終らせよう
と するときに
星が、力なく、空にみち
かすかに囁きはじめるときに

そして、高まつて むせひ泣く
絃のやうに おまへ、優しい歌よ
私のうちの どこに 住む?

本の話 きのこではなく きのこ目ではなく

「今年はこのこが豊作だね〜」なんていう話を聞くと、うずうず、週末が待ち遠しい私です。



「今年はこのこが豊作だね〜」なんていう話を聞くと、うずうず、週末が待ち遠しい私です。

本の並びが体に染みついてきます。全く違う分類の本が混じっていると違和感があります。きのこ目ならぬ「本の目」になっているのですね。

図書館の本で、とんでもないところに紛れ込んでいる率が一番高いのが「性」に関する本です。

私は雑きのこ派で、地元でいうアマミタケ、ジコボウ専門です。初心者の方は、「そこにある」と言われて目を凝らしても、枯葉しか見えません。けれど、毎年通い続けていると「きのこ目」になるんですね。その2種類だけは、自然に目に飛び込んでくるようになります。

ずかささもあって、おおびらには読めない。揺れる思春期の子たちが、そり読んで、「ソロリ」のとなりや、「あたしんち」の隙間に返していくのでしょう。

長い前置きでしたが、…、図書館の本も同じです。毎日書架を眺め暮らしていると

図書館にある「性」の本は、むしろ積極的に読んでほしい内容です。行方不明になるのは手に取られている証拠なので喜ばしいと思います、あちこちの棚から発掘してはそつと戻しています。

乗っ取って排架されています。

図書館の本は日本十進分類法に

498.1、498.12……これって四捨五入しちゃいけないの？と言った人がいますが、数字にはすべて意味があるのでそういうわけにはいきません。

分類を頼りに本を探すので、抜いた本はもとの場所に返してもらえると助かります。いくら本の目が発達している図書館員といえども、「貸出可」状態なのに、目当ての棚がない！とけっこう焦ります。返す場所がわからなくなつてしまったら、遠慮せずにカウンターにお持ちください。

抜いた本はもとの場所に返してもらえると助かります。いくら本の目が発達している図書館員といえども、「貸出可」状態なのに、目当ての棚がない！とけっこう焦ります。返す場所がわからなくなつてしまったら、遠慮せずにカウンターにお持ちください。

「ほつとたいむ」
ラクガキ屋Mauru
(イラストレーター村内在住)



ほめられた〜、〜……⑥

それをどうして おまへのうちに
私は かささり 夜ふかく
明るい闇の みちるときに？

詩集「優しき歌Ⅱ」から

この本に巡り合ったのは、図書館の本の展示スペースだった。手に取り、ページをめくると色鮮やかな写真が目飛び込んできた。

イギリスの田舎の石造りの家、田園風景、異国情緒たっぷりの本にいつの間にか引きつけられていた。

実を言えば私も人生の秋にさしか

私のこの一冊

古畑生子 図書館利用者

老いるヒント
長寿九歳時イギリスに学ぶ人生の秋の秘め方



「老いるヒント」
シャワーイン 裕子

かっている。この本で紹介されているような友人づくりから実り多きセカンドライフの生き方など、興味はつきない。優秀な人達の活躍の話などを読むと凡人としては情けないが、そこはちゃんとフォローしてくれる。凡人には凡人並みにできることがある。

8・9月の貸出ベスト10

- 1位 クラスメイツ／森絵都
- 2位 芥川 症／久坂部羊
- 2位 子どものおやつ、どれを
買う?／垣田達哉
- 4位 本屋さんのダイアナ
／柚木麻子
- 5位 子どもの「言わないとや
らない!」がなくなる本
／田嶋英子
- 6位 川あかり／葉室麟
- 7位 人生の9割は逃げていい
／井口晃
- 8位 ナイト&シャドウ／柳広司
- 9位 長生きしたけりゃふくらは
ぎをもみなさい／槇孝子
- 10位 北欧のかわいい家と雑貨
をめぐる旅／浦上克也

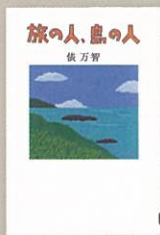
11月の特集はもりだくさん!

▶「支援が必要な子どもたちの本」
展示

人権月間に合わせた企画です。
「本と子どもの発達を考える会」から
お借りした本をご覧いただけます。

▶大人の「おたのしみブック」
読書週間 10月27日～11月9日
「めぐる、めぐる本の世界」に合わせて、
おすすめの本をポップで紹介して大
特集。あなたのおすすめの本も教え
てくださいね。

おねえさん、おすすめ新着本



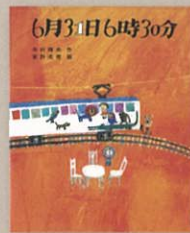
「旅の人、鳥の人」俵万智
沖繩でのくらしをつづったエッセイ。
美しい写真と短歌がちりばめられ、
息子さんの言葉もきらめいていま
す。



「どんぐりかいぎ」片山健
どんぐりを動物たちに食べられず
さて芽が出ない。そこでどんぐり
の木は考えた。



「まるまるの種」西條奈加
江戸で人気の「南星屋」の菓子。
でもこの一家には秘密が…。おいし
い時代小説。



「6月31日6時30分」
6月に31日は存在しないのにな
ぜ……? 40年前のナンセンス童話
の復刊です。



「ターンオーバー」堂場瞬一
高校野球、やり投げ、ラグビー…。
手に汗握るスポーツ小説集。



「季節をたべる
秋の保存食・行事食」濱田美里
収穫の秋です。イモ・クリ・キノコ。
冬ごもりの準備をしなくてはな
りません。親子でどうぞ。

図書館からのお知らせ

●文化祭の図書館の催し
11月1日(土)・2日(日)

①リサイクルブック

▼今年もたくさんの本をご提供します。

②あなたの生まれた日の新聞をプレゼ
ント▶信毎のデータベースを体験しよう。

③工作「木の実を使ったカメラ作り」

1日(土) 10:00～

④本のお医者さん・カードケース作り

2日(日) 1:00～3:00

▼あなたの大切な本をシンエーセイホンの
鈴木さんが修理してくれます。カード
ケースも作れます。

●ナイトライブラリ

秋のお楽しみとして定着した、夜の図書
館で繰り広げられるおはなしの世界。夕
ご飯のあとのオイシイおはなしのデザー
トをどうぞ。

11月14日(金)・20日(木)・26日(水)

夜7:30～8:00ころ 小学生以上対象

◆今月の図書館川柳
地図開き 景色を描く
無銭旅

川柳あららぎ 一博